

科目名	ヴォーカルV						年度	2025	
英語科目名	Vocal V						学期	前期	
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必/選	選	時間数	60	単位数	2	種別※	実技
担当教員	池田ちほ	教員の実務経験		有	実務経験の職種		俳優		

【科目の目的】

より多くのジャンルの曲を使って、グループでの歌唱とソロパートの歌唱を実践する。また、観客の前で歌うことを想定し、身体を使っての表現も行っていく。

【科目の概要】

様々な種のヴォーカルに取り組み、歌の世界観を理解し、歌唱力と表現力を高めることを目標とし、成果を発表する。

【到達目標】

身体全身を使った声のためのトレーニングを積み重ねることにより、これまで、口先や喉を多用してきた声、不自然に作った声、ただがむしやらに出してきた声、音楽にのって自己満足で歌ってきた声、自信を失くしたか細い声、等がどのように変化したかを自覚することができる。さらに、課題曲の発表を通して、作品表現としての自分の歌声を、客観的に捉えられるようになり、自己分析できるようになる。

【授業の注意点】

授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応する。また、連絡のない遅刻・欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル4 よい		レベル3 ふつう
到達目標 A	相手の目を見て挨拶することができる		挨拶することができる		挨拶することが全くできない
到達目標 B	課題内容を理解し演じる（歌う）ことができる		課題を演じる（歌う）ことができる		課題を演じる（歌う）ことができない
到達目標 C	遅刻・欠席をしない		遅刻・欠席が少ない		遅刻・欠席が多い

【教科書】

必要に応じて楽譜・資料を配布する。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ヴォーカルV			年度	2025
英語表記		Vocal V			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	個性を知る(声量・ダンス能力)	1 音程	楽譜通りに歌う		
			2 リズム			
			3 ダンス			
2	基礎的な歌唱表現トレーニング1		1 音取り	楽譜通りに歌う		
			2 パート	自分のパートを理解する		
3	基礎的な歌唱表現トレーニング2		1 音取り	楽譜通りに歌う		
			2 パート	自分のパートを理解する		
4	基礎的な歌唱表現トレーニング3		1 音取り	楽譜通りに歌う		
			2 パート分け	自分のパートを理解する		
5	ミュージカルナンバーを歌う1	音感・譜面トレーニング・リズムチェック	1 音取り	楽譜通りに歌う		
			2 パート	自分のパートを理解する		
			3 リズム	曲に合わせた感情表現をする		
6	ミュージカルナンバーを歌う2		1 音取り	楽譜通りに歌う		
			2 パート	自分のパートを理解する		
			3 リズム	曲に合わせた感情表現をする		
7	ミュージカルナンバーを歌う3		1 音取り	楽譜通りに歌う		
			2 パート	自分のパートを理解する		
			3 リズム	曲に合わせた感情表現をする		
8	ハーモニーの基礎トレーニング1		1 音取り	楽譜通りに歌う	2	
			2 パート	自分のパートを理解する		
			3 チビソロ	音程とリズムを遵守する		
9	ハーモニーの基礎トレーニング2		1 音取り	楽譜通りに歌う		
			2 パート	自分のパートを理解する		
			3 チビソロ	音程とリズムを遵守する		
10	多ジャンルの歌唱トレーニング1	曲に合わせて振付	1 発声	開口発声ししっかり声を出す		
			2 ストレッチ	身体をしっかり温める		
			3 振付	瞬時に覚える術を身に付ける		
11	多ジャンルの歌唱トレーニング2		1 発声	開口発声ししっかり声を出す		
			2 ストレッチ	身体をしっかり温める		
			3 振付	瞬時に覚える術を身に付ける		
12	多ジャンルの歌唱トレーニング3		1 発声	開口発声ししっかり声を出す		
			2 ストレッチ	身体をしっかり温める		
			3 振付	瞬時に覚える術を身に付ける		
13	総合的な歌唱トレーニング1	ブラッシュアップ	1 発声	全体の調和と自声のバランスを極める		
			2 ストレッチ	身体をしっかり温める		
			3 振付	振付を確認する		
14	総合的な歌唱トレーニング2	クオリティアップ	1 発声	全体の調和と自声のバランスを極める		
			2 ストレッチ	身体をしっかり温める		
			3 振付	振付を確認する		
15	授業内発表	本番	1 発声	全体の調和と自声のバランスを極める		
			2 振付	振付を確認する		
			3 本番	ゼミの仲間と合わせる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等